

■火遊びはやめましょう！！

残念ですが、子どもの火遊びによる火災が後を絶ちません。被害が発生する前にみんなで注意して事故や火災を防ぎましょう！！



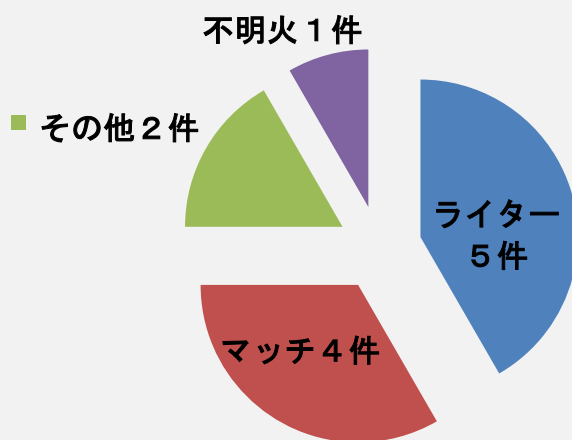
子どもの火遊びは、大人がいない時によく起こります。大人がいない時や大人が目を離した際に、小さな子どもは、手の届く所にあるライターやマッチなどで様々な物に火をつけてしまうことがあります。火遊びはとても危険です！！絶対にやめましょう！！

●子どもの火遊びによる火災

子どもの火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の通報が遅れて火災が拡大する原因にもなってしまいます。

吉川市、松伏町では火遊びによる火災は平成21年から平成25年までの5年間で12件発生しており、平成25年では5件発生しています。平成21年から平成25年までにライターが原因で火災になってしまった件数は、明らかになっているもので5件発生しています。

平成21年から25年までの火遊び火災発生原因





●火災を防ぐために大切なこと

1 子どもたちだけで火を扱わないようにしましょう。

子どもは火の危険性に対して十分な認識がなく、正しい取扱いができないと考えられますので、安易に火を取り扱わせることは危険です。

花火をするときは必ず大人が付き添い、子供たちだけでは絶対にさせないようにしましょう。また、花火をするときは水を用意して安全な場所で行うなど、ルールを守って行いましょう。

2 子どもの手の届くところにライターやマッチを置かないようにしましょう。

家や車内などにライターやマッチを放置することは、子どもたちが容易に使ってしまう可能性があるため危険です。厳重に管理しましょう。

3 火の怖さを教えましょう。

子どもがライターなどで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意して止めさせましょう。

子どもたちが理解できる年齢になったら、火の怖さや火の取扱い方法について教えるようにしましょう。

自分の子どもだけでなく、多くの子どもに火遊びの危険性について注意するなど家だけでなく地域みんなで火遊びをさせない環境をつくりましょう。

